



原村長
清水 澄きよし

皆さん、明けましてお芽出とうございませう。今年も辰年です。地震津波や台風被害、円高不景気で疲弊沈滞してしまつたわが国が、飛龍昇龍の辰の勢いにあやかり回復活性化し、皆さんが健康開運の年となりますよう、ご祈念申し上げます。

さて昨年の村長選挙では大量の得票を戴き、4選を果せて戴きました。上昇気運にあります村勢を更に発展させるべく努めて参る所存で、意を新たに励んで参ります。4期目就任のご挨拶で私は、対症療法的な住民ニーズに応える近くを見る目と共に、将来にわたつて魅力ある村として持続して行く、遠くを見る目を養いたいことを述べました。限りある予算の中ではどこまで実現させることが出来るか難題であります。知全能を傾けて取り組みたいと思ひますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故で、電力供給のあり方が全国的に変わるうとしています。原子力発電を止めても火力発電を再開強化したのでは、何にもなりません。地球温暖化ガスを排出するからです。徐々に自然エネルギー、再生可能エネルギーに



原村議会議長
五味 武雄

新年、あけましておめでとうございませう。村民の皆さまには、夢と希望に満ちた爽やかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また平素は、議会に對しまして貴重なご意見ご提言を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、国内経済は景気の低迷から脱却し、上向きかけたと思われた矢先に起きました東日本大震災・長野県北部地震と東京電力福島原子力発電所の事故により甚大なる被害をこうむり、復興への途についた状況でありました。また、国外に目を転じますれば、外国為替市場における記録的な円高・ドル安やデフレ、チュニジア国におけるジャスミン革命とそれに続く近隣諸国の政治的混乱、欧州連合17ヶ国(ユーロ通貨圏)における国家の債務危機、タイ国の洪水被害など世界的な混迷を深めた政治・経済状況でありました。

一方、原村におきましては「村づくり」の根幹をなす「第4次原村総合計画」の後期

ごあいさつ

転換しなければなりません。それでも電力は不足だと思ひますので、節電型の生活にして行くことが大切です。原村では既に新エネルギーヴィジョン、省エネルギーヴィジョンを策定しています。これを基にエコヴィレッジを構築して行きたいと思ひます。新しいエネルギーを生み出すこと、なるべくエネルギーを使わないで済む村を作ること。これで特徴ある村になれば、村の活性化と将来への持続可能性に大きく貢献することになります。私達はエネルギー浪費型の生活を改めなければなりません。

今年も手始めに八ヶ岳自然文化園でのソーラー発電、樅の湯でのエコキュートによる給湯、役場等の照明のLED電球への切り替え開始です。今までも節電はしていますが継続して行くことが大切です。また今年も特別職としての特別顧問に新しい視点でのエコヴィレッジ構築の提案と実施を計って戴くこととしています。原村が県下に誇れるようなポリシーが出来ればと期待しております。これらは遠くを見る目ということになります。

また今年も各種ハードの議論をして戴く年となります。保健センターの建て替え、樅の木荘の建て替えか廃業か、保育所給食棟の新築、他に文化園の野外大テント等もあります。皆様のご意見を寄せて下さるようお願い致します。

災害が起る度に絆の大切さが言われます。東日本大震災でも絆が、地域の被害の鎮圧収拾と復旧に大きな力を発揮しています。よく言われる言葉に「自分達の地域は自分達で守る」があります。危急の時こそ隣人の和が力を発揮します。和を作ること、絆を盛り上げること、それは互いの心の中にあります。郷に入りては郷に従え。これは永遠の真理です。地域の繋がりやを良くして、桃源郷を作り上げなければなりません。誰もが羨む郷となり、人口の増えつづける村として発展して行きたいものです。

最後に毎年お願いしておりますが、すばらしい原村の景観を美しく保つため、ゴミのポイ捨ては止めましょう。今年も頑張ることを約束しまして新年のご挨拶とします。

基本計画が昨年よりスタートしております。将来像として「人も地域も輝く緑豊かな原村」がうたわれています。

この「人も地域も輝く緑豊かな原村」を確かなものにするためには、議会と行政機関だけでなく、村民の皆さま方のご理解と参画を頂きながら、一体となって計画を推進することが求められていると考えます。

特に、本年以降、国の財政出動は大震災への復興支援や原子力発電所事故の収束に向けての取り組みに、大きくシフトしたかたちで推移すると予想されます。従いまして、「自立の村」を進めていく中で、当村に対する国からの地方交付税額などの推移を、慎重に見守る必要があるかと考えます。

私ども議会も政策決定権を有する議決機関として、村民の皆さまの付託に応えられるよう更なる研鑽を積んでいきます。とりわけ課題の山積する今日、安心と安全の村づくり、少子化・高齢化対策、財政健全化への対応、若者定住に不可欠な雇用の場の確保、そして、本村特有の美しい自然と文化を未来に引き継ぐ施策の展開が肝要と考え、議会としても行政機関ともども渾身の努力を傾けて参る所存です。

どうぞ、本年も議会に對しまして、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、村民の皆さまのご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

8/19 村へ車いす6台寄贈



佛国興から車いす6台が寄贈されました。このうち、1台を役場庁舎で、5台を村社会福祉協議会で使用しています。

10/22、23 全国障害者スポーツ大会
小林照秀さん3位入賞



はらむら悠生寮の小林さんが、第11回全国障害者スポーツ大会フライングディスク種目で3位入賞しました。

11/15 伊藤訓さん黄綬褒章受章



中新田の伊藤訓さんが、長年携わっている酒造りで業務精励の黄綬褒章を受賞し皇居にて褒章を受けました。

12/3 八ヶ岳美術館
清水多嘉示の作品を新たに収蔵



彫刻家清水多嘉示のブロンズ彫刻作品5作品6点を新たに収蔵し、これを記念して作品の除幕式が行われました。

5/24~ 南三陸町 短期リフレッシュ事業



5月~10月まで全8回にわたり、東日本大震災で被災された南三陸町の皆さんを原村へお迎えし、観光や交流をしていただきました。

6/17 図書館 貸出150万冊達成



原村図書館の図書の貸出冊数が150万冊に達し、くす玉割りや記念品の贈呈が行われました。

7/24 原村長選挙



原村長選挙で、現職の清水澄氏が当選しました。8月8日には、清水村長が初登庁し、4期目の村政をスタートしました。

8/2~10/10 八ヶ岳自然文化園
“はやぶさ” 模型展示



宇宙航空研究開発機構制作の小惑星探査機「はやぶさ」の2分の1模型を全国で唯一の展示施設として展示し、観光に訪れた人々を楽しませました。

2/16~18 ごみ・資源に関する住民説明会



燃やすごみの収集日変更や、資源物回収の一部変更に伴う住民説明会が各地区で行われました。分別にご協力ください。

3/28~ 被災地へ救援物資を搬送



東日本大震災で被災した方へ、皆さんからお寄せいただいた救援物資を搬送しました。ご協力ありがとうございました。

4/22 医師派遣に関する覚書の調印式



覚書の調印により、諏訪中央病院から原村診療所へ家庭医療プログラムとして医師2名が派遣されることになりました。

4/24 原村議会議員選挙



選挙は無投票となり、翌25日に当選証書授与式が行われました。当選議員は、男性9名、女性2名の11名です。

特集

写真で振り返る
原村2011

新年あけましておめでとうございます。

昨年はどんな一年でしたか。

2011年の、原村のさまざまな出来事を
写真とともに振り返ります。

1/12 セカンドブック贈呈式



平成22年度から、3歳児に絵本をプレゼントするセカンドブック事業がはじまりました。絵本を受け取った児童は皆うれしそうでした。

2/11 日本建築家協会25年賞受賞記念イベント



第10回日本建築家協会25年賞に八ヶ岳美術館が選ばれ、受賞記念イベントが行われました。

2/16 災害時における飲料水供給等の
協力に関する協定締結



災害時等に、村の災害対策本部を通じて販売機内の飲料を無料で提供する協定を北陸コカ・コーラボトリング㈱と締結しました。